

# the Lion

Vol. 2

THE LION TIMES 2025-2026



Photo : 大代 (葵区梅ヶ島)



- 地区ガバナーアピール
- アクティビティ紹介
- 地区大会案内
- 事務局だより

# 地区ガバナーアピール



## 地区ガバナー 杉山 節雄

その一環として、近年深刻化している**困難な状況下にある家庭の子どもへの支援や食糧支援活動**にも、各クラブが積極的に取り組んでくださっています。経済的に厳しい環境にある家庭の子どもたちに学習支援や生活用品を届け、またフードドライブやフードバンクを通じて食の安心を支える活動は、まさに地域の未来を守るライオンズの奉仕そのものです。これらの地道な取り組みは、多くの家庭に笑顔と希望をもたらしています。こうした活動こそ、「新たな奉仕に一步を踏み出す」象徴的な実践であり、地区として今後さらに広げていきたい分野です。

2025～2026年度ライオンズクラブ国際協会334-C地区ガバナーに就任してから、早くも半年が過ぎました。この間、各クラブの皆さまには、私のガバナー方針にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。各地で展開されている奉仕活動の報告に触れるたびに、ライオンズの絆と地域社会への深い思いやりを感じ、改めてこの組織の力強さを実感しております。

本年度の地区スローガンは「We Serve 新たな奉仕に一步を踏み出そう」です。社会情勢の変化は激しく、地域が抱える課題も多様化しています。こうした中で、私たちライオンズは、これまでの枠にとらわれず、地域の実情に寄り添った新しい奉仕の形を模索していく必要があります。スローガンには、従来の活動をさらに発展させ、新しい一步を踏み出そうという決意を込めました。

地区ガバナー方針の第一は、「クラブの活性化による奉仕の質の向上」です。クラブが元気であれば、奉仕の力も大きくなります。地域に根差した活動を通じ、会員が誇りと喜びを感じられるクラブづくりを進めてまいります。第二は、「次世代への継承」です。若者や女性、そして学生を中心とした新しい仲間を迎え入れ、未来に続く持続可能な組織基盤を築くことが欠かせません。第三は、「地域との協働による新たな奉仕の展開」です。行政、教育機関、企業、NPOなどと連携し、地域の課題を共に解決していく取り組みを推進します。

地区目標としては、「会員純増」「新クラブの結成」「奉仕活動の可視化」を掲げています。奉仕の現場での努力を社会に発信し、多くの方々にライオンズの実存意義を理解していただくことが、次なる仲間づくりへとつながります。特に若い世代への働きかけを通じ、未来を担う人材と共に地域づくりを進めることが大切だと考えます。

今後の重要な地区行事として、2026年4月19日(日)に静岡市清水マリナーナートにおいて「第72回地区年次大会」を開催いたします。この大会は一年間の総決算であり、クラブの成果を共有し合い、次年度への希望をつなぐ場です。多くのメンバーのご参加を心よりお待ちしております。さらに、翌月の5月24日(日)には、静岡市グランシップにて「第72回334複合地区年次大会」が開催されます。複合地区全体が一堂に会する貴重な機会として、地区の枠を超えた友情と連帯を深める絶好の場となることでしょう。

この半年間、皆さまお一人おひとりの献身と熱意に支えられ、地区運営は順調に進んでおります。私たちライオンズは、どのような時代にあっても「We Serve」の精神を胸に、人々のために行動する存在でありたいと思います。どうか残る任期の半年間も、共に心を合わせ、「新たな奉仕に一步を踏み出す」力強い歩みを進めてまいります。

皆さまのご健勝と、全クラブのさらなる発展を心より祈念申し上げます。

# ライオンズクラブふれあい合同フェスタ 2025

1R・1Z 浜松LC



これまで浜松ライオンズクラブが単独で開催してきた「ふれあいフェスタ」ですが、2025年10月18日（土）、1R1Zに所属する7クラブと力を合わせ、初の合同開催という新たな試みに挑戦しました。このイベントは、地域の皆さまにとって、ライオンズクラブの活動をより身近に感じていただける貴重な機会であり、準備段階から多くの方々の協力を支えられて実現したものです。浜松市をはじめ、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、静岡第一テレビ、K-MIX、FM Haro!などの後援をいただけたことも、私たちにとって大きな励みとなりました。

当日は曇り空で肌寒い一日でしたが、約2,300名という予想を上回る来場があり、感謝の気持ちでいっぱいです。「障がい者の未来を一緒に応援しよう！」という想いのもと、1R1Zの7クラブがそれぞれの特色を生かしたブースを展開し、来場者との交流を深めました。

ステージでは、迫力ある細江あすなろキリ太鼓に始まり、葵プロジェクトや各種バンクの紹介、Weedy浜松のダンス、日本盲導犬協会の活動紹介、浜松ライオネット合唱団の合唱と、心に残るプログラムが続き、来場者から大きな拍手と温かな反応をいただきました。

また、販売ブースやキッチンカーも大盛況で、笑顔で商品を手にする来場者の姿に、私たちも励まされました。さらに、献血にも49名の方が協力してくださり、思いやりと連携に包まれ会場に私たち自身も地域とつながる喜びと手ごたえを強く感じました。

浜松ライオンズクラブとしては3度目の開催となり、少しずつイベントの認知も広がってきたことを実感しております。今後もクラブ同士が連携し地域の皆さまと心をつなぎ、未来へ向けて歩んでまいります。

# 子供たちの笑顔のために

1R・2Z 森町LC



森町ライオンズクラブは、49年前より町内の各幼稚園、小中学校にチューリップの球根を贈っています。10年前からは保育園を含め16施設に寄贈していましたが、統合などにより現在は13施設となっています。

始めた1977年当初は、子供たちの数も3,165名いましたが、約半世紀の時代を経て、今年1,588名と半減してしまいました。

高齢化率の高い我が町ですが、子供たちが明るく地域交流を積極的に行い、高齢者や子供たちも仲が良いのが特徴です。

来年で50年と長く続くアクティビティです。チューリップの花言葉に「思いやり」や「美しい瞳」などがありますが、いつまでも美しい瞳を輝かせ、思いやりを持った人に成長して欲しいと願いも込めたアクティビティが約半世紀続いていることに誇りをもって、先輩方より続いているバトンを次世代にも伝えていきたいです。

チューリップは開花時期が3月中旬より4月上旬で、花の色により咲く順番が違うので、きれいな花が長く続くよう工夫して植えたり、卒業式や入学式にはメッセージを添えて並べられ子供たちを見守っています。ちょうど卒業式や新しい児童、生徒を迎える入学式に彩を添えることができ、子供たちの笑顔が見られることが喜びです。

## 写真説明

- ・園内の花壇に毎年、園児が自分たちの手で植えつけをしています。

- ・中学校では生徒が育てることができないので「まごころプランター」と名付けて、冬の間保護者の方にご協力をいただき卒業式前に間に合うよう大切に育てられています。

# 映画を通して広がる理解と奉仕の輪

1 R・3 Z 浜北LC



この度、1R3Z合同記念事業として、「浜松市ろうあ協会」様より映画拝観協力のご依頼をいただきました。

9月23日の「手話言語の国際デー」に合わせ、ろうあ者の現状や日常、社会の中で直面している課題について、多くの方に知っていただくことは、大変意義深い機会であると考え、合同記念事業として提案いたしました。その趣旨に対し、各クラブの皆様から温かいご理解とご賛同をいただき、実施に至りました。

鑑賞した映画『ぼくが生きるふたつの世界』は、音のある世界とない世界の狭間で生きる当事者の視点から、ろうあ者の暮らしや家族との関係、社会との関わりを丁寧に描いた作品です。上映は三回実施されましたが、いずれの会も会場の席が一杯になる程関心が高く、本事業への期待の大きさを実感しました。各クラブがチケット購入にご協力・鑑賞していただいたことで、ろうあ者への理解を深めると同時に、「私たちに

何ができるのか」「奉仕団体として社会にどのように寄り添うべきか」を、改めて考える貴重な機会となったと感じております。

ライオンズクラブとして、映画を通じて社会課題を学ぶ取り組みは初めての試みでしたが、多くのメンバーから「深い感動と新たな気づき」を得ることができたとの感想を伺うことが出来ました。

今回の経験を一過性のものとせず、今後の奉仕活動に生かしながら、理解から行動へとつながる活動の幅をさらに広げていきたいと考えております。また、平時より当事者の声に耳を傾け、見えにくい課題に光を当てながら、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向け、奉仕活動を重ねてまいります。

関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

# 中学生へ読書のすゝめ

1R・4Z 菊川LC



昨今、スマホを初めデジタル化の進展が目覚ましい。その影響もあって、中学生の読書が減っている。便利さと引き換えに、本や新聞を読むといった、活字文化から遠ざかる傾向がある。読書を通じ、構想力や創造（想像）力を培い、多くの先達の知見を得ることで、人格形成に大いに役立つと期待されている。それにも関わらず、学校への図書予算が削減され、学校の図書館司書も配置がままならず、教員から読書を進めることも少なくなったと聞く。読書の重要性に反する、環境の悪化の進行を大変心配し、憂えているところである。

菊川ライオンズクラブは、中学生に対し、良質な図書との出会いやそして、読書が、中学生生活の掛け替えのない大事な一部となって欲しいと念願している。そのため、毎年、市内中学校に本の寄贈、読書感想文の募集、優秀作品の選評と表彰、市民へ公的施設での公開及び作品集の頒布等の事業を行っている。本の寄贈に当たっては、各学校長から希望する本のリストをもらうと同時に、何故その本を選んだか、読書

への基本的考え等も伺うことにしている。本の選定では、辞書や辞典あるいは娯楽本は避けるようお願いする。あらかじめ、ライオンズからの予算枠はお知らせし、その範囲で行っている。読者感想文の募集は、あらかじめライオンズから募集における注意事項をお示しする。まずは①本のあらすじやその本を選んだ理由など②その本で心に響いた場面や言葉、何を感じどう考えたか③その上で自分の意見や活用への思いなど、これらがバランスよく述べられていることを求める。自分の日常生活やエピソードが絡めば、さらに魅力的な感想文になる。生徒たちからは毎年、感受性が豊かで、講評に甲乙つけがたい作品が出され、会員にとっては嬉しい悲鳴を上げることも多々ある。優秀作品の表彰は、会員が、各学校を訪問し、生徒一人一人に賞状と記念品を贈っており、マスコミでも報道されている。この事業は、15年以上継続しており、学校関係者の期待も大きく、会員の達成感も高い。これからも、世の中の動向も勘案しながら、さらに充実した事業としたい。

# 静岡病院の災害地派遣4WD車への寄付

## 2R・1Z 5LC合



2R1Zの5クラブ合同アクティビティとして、静岡市立静岡病院様へ「災害地で医療活動を行うためのオフロード車両購入費」を寄付いたしました。

静岡市立静岡病院様は創立156年を迎える地域医療の中核病院で、救急医療や高度な専門医療・急性期医療を担っています。

また、南海トラフ地震などの大規模災害に備え、2013年には災害医療派遣チーム（DMAT）を立ち上げ、災害拠点病院として指定されています。

しかし、2024年1月の能登半島地震での派遣活動では、雪道や壊れた道路、山道などの過酷な環境を安全に走行できる車両が必要であることが明らかになりました。

災害医療派遣チームの安全を守り、二次災害を防ぐためにも、専用のオフロード車両の導入が急務となっていました。

DMAT（災害医療派遣チーム）とは

DMATは、大規模災害が発生した直後に被災地へ駆けつけ、途切れそうになる医療体制を支えるための専門チームです。

医療が止まることは命の危険に直結するため、\*\*「いち早く現場に入り、医療を継続させる」\*\*ことが最大の役割です。

DMATを強化する意味

DMATの装備や体制を整えることは、病院そのものの災害対応力を高めることにもつながります。

また、災害拠点病院として、他地域から応援に来るDMATを受け入れる“ハブ”の役割も果たせるようになります。

## 中学生対象 野球教室

2R・2Z 清水日本平LC



清水日本平LCのCN40周年記念事業として、プロ野球2軍ウエスタンリーグに参加するくふうはやてベンチャーズ静岡の選手達による中学生対象の野球教室を11月9日にちゅーるスタジアムで開催しました。  
中学生対象の野球教室は今回が初開催。区内の中学校の野球部員の減少もあり、「子供たちが野球をする機会を増やしたい」との思いで企画しました。

当日はあいにくの天気でしたが、清水区内の中学生約70名が参加しました。7人の選手からキャッチボールのポイントやバッティングの基礎を学びました。参加者からは「新しい技術が得られた。選手達が優しかった」「説明が分かりやすく参考になった」と笑顔で感想を話していました。

# 牧之原市・吉田町竜巻被害との関わり

2R・3Z 榛南LC



榛南LCは本年度CN55周年の記念アクティビティとして、2025年8月30日に吉田町社会福祉協議会に災害時に役立つポータブル電源・ソーラーパネルを寄贈しました。同じく牧之原市にも寄贈し、同日長野県松川町との合同で、災害時のボランティアセンター立上げの訓練を行い、いつか来るだろう災害に備えました。皮肉なことに、1週間も経たない9月5日に過去最大級の竜巻が牧之原市・吉田町を襲いました。メンバーで被害がないか確認したところ、何人か被害があり、瓦礫撤去をしました。すぐに隣の藤枝LCからブルーシートの支援があり、メンバーとその近所に配布しました。2日目に牧之原市社会福祉協議会から、要請があり、ボランティアセンターに参加することになりました。最初はメンバーが瓦礫撤去等の実際の作業に参加しました。その後、真夏の中で熱中症対策とした、飲料水を被災者や、ボランティアの方、業者の方など作業している方に配布しました。

また、ボランティアセンターで知人の漁業に携わる方から、何か協力したいとのことで、魚を保存する大型のクーラーボックスを貸していただきました。漁業協同組合様にも氷の提供をしていただき、冷えた飲料水をボランティアセンターに設置することができました。また、地元のテントシートを扱う企業様から、テントを無償提供していただき、ブルーシート・土嚢袋や瓦礫撤去に必要な機材を保管することができるようになりました。災害時には周りの方の協力が重要であることを教えられました。メンバーの役割は、飲料水の提供と、ボランティア保険等センターの運営の手伝いでした。単一クラブでは無理があるのでゾーンチェアパーソンを中心にゾーンでの対応にすることになりました。牧之原市は、榛南LC、吉田町は島田LCが中心となり活動し、約2か月に及んだボランティアはとりあえず終了となりました。

現地が完全に復旧するのはまだ先ですが、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

# 静岡ホーム ビオトープ整備～交流夏祭り

2 R・4 Z 静岡巽LC



子どもたちの体験教育の場として、自然生態系の観察空間として多くの効用が期待されているビオトープ。当クラブでは毎年、静岡市にある児童養護施設「静岡ホーム」で開催している夏祭り例会の午前中、環境保全委員会が中心となって有志たちとこのビオトープの整備に汗を流します。伸びきった樹木の剪定に始まり雑草取り、朽ちてきた丸太橋の架け替えなど夏場の暑さと格闘しながら作業を進めていきます。整備が終わりキレイになった池には子供たちがメダカを放流。元気に泳ぎまわるメダカのそばにはアメンボも――。水の上をスイスイ歩くアメンボを不思議がったりと自然界の楽しさを体験しながら命の大切さを学んでもらえたらと願っています。

午後からは、施設の子どもたちと一緒に開催の「夏祭り例会」。近年は同じ市内にある日本ことば学院の留学生もボランティアとして参加くださり、ちょっとした国際交流の場となってきました。

施設内にある楓ホールを会場とし、子どもたちに楽しい時を過ごしてもらおうと、毎年趣向を変えた催し物を企画。昨年は大道芸人のパフォーマンスに釘付けとなり、今年は極真空手の演武体験の迫力に興奮冷めやらない様子。留学生たちも参画しながら全員で楽しんだ。

夕方からは園庭に縁日を再現、焼きそばやおでん、フランクフルトにかき氷に舌鼓を打ちながら輪投げやくじ引きなどのゲームに興じる。フィナーレは花火大会で締めくくり。

『ライオンズクラブのおじさんたちのお祭り』は、子どもたちの記憶にも刻まれているようで感謝の寄せ書きを頂くと、涙腺も緩みがちになる。卒園して社会へ巣立っていく時などに、施設での思い出の一コマとして振り返ってもらえたら幸いである。今後とも皆を笑顔にできるよう、工夫を重ねながら事業を継続していきたいと考えます。

# 大地震に備える「その時」の行動計画

3R・1Z 沼津LC



## 10月第2例会／防災勉強会を開催

災害時に市民の支援に奉仕する会員としての役割を再確認することを目的に、アラート委員会担当の会員向け防災勉強会を開催しました。非常時に必要な具体的な行動を実践できるようにするための学びの場として実施したものです。

当日は、防災必須備蓄品の展示会を行い、簡易トイレ、非常食をはじめ、ポータブル電源、ソーラーパネル、ランタン、カセットコンロ、手回し発電式ラジオなど、実際の災害時に役立つ物品を会員が手に取って確認しました。また、会員全員で非常食の試食を行い、味や量、作り方などを体験しました。被災者の立場を想像しながら実際に口にする事で、災害時の視点を深める機会となりました。

続いて講義では、発災後の行動を「3分後・3時間後・3日後」というタイムラインに分け、それぞれの段階でどんな行動をすべきかを確認しま

した。発災直後は、まず自らの安全確保を最優先とすること、その後は周囲の安否確認や情報収集を行い、数日後には市民支援に関わる奉仕者としての行動が求められることを、具体的な例を交えて学びました。

参加した会員からは、「タイムラインで考えることで行動が明確になった」「非常食を試食することで防災が身近に感じられた」といった声が聞かれました。また、昨年、市民向けに作成・配布した必須防災備蓄品リーフレットについて、追加配布して欲しいとの要望があり、今後も内容を更新し、市民に継続して提供していくことの重要性を会員間で共有しました。

「防災は想像力」が大切です。今回の勉強会を通じて、災害時の奉仕は、普段の学びと準備の積み重ねによって支えられるものであることを、会員全体で確認することができました。今後も、We Serveの精神で地域に寄り添い、市民の力となるよう、防災への理解と実践力の向上に継続して取り組んでまいります。

# フードバンクふじの国と地域社会の繋がり

## 3R・2Z 富士タカオカLC



フードバンクふじの国は、いまだ十分に活用可能でありながら廃棄される食品を、企業および個人、団体からの善意により受け入れ、生活に困難を抱える方々や福祉施設、子ども食堂等へ無償で提供する活動を推進しております。

本活動は、地域福祉社会の向上と食品ロス削減を同時に実現する取り組みとして行政並びに関係団体との連携のもと継続的に展開されており、ライオンズクラブ各位の「We Serve」の理念とも深く軌を一とするものです。

我々334-C 3R2Zの5ライオンズクラブも各クラブからの食糧支援はもちろん、5クラブ合同にて多くの食料品の寄付を行いました。

食品の手配はもちろん、搬入から搬出に至るまで地域の福祉活動の向上に大きく貢献しております。

2Z5ライオンズクラブは今後もこのフードバンク富士の活動を通じて、地域社会との繋がりや、

食品ロス削減と生活支援を同時に実現できるこの取り組みが、地域の課題と地域で支える持続可能な社会づくりに繋がると思い継続して行って参ります。

結びに今後もフードバンクふじの国を通じて、ライオンズクラブメンバー皆様を誰一人取り残さない地域社会の実現を目指し、奉仕の輪を広げてまいります。

# 小山町玄関口の環境美化清掃

3 R・3 Z 小山LC



小山ライオンズクラブでは、平成8年より、国道246号線 棚頭インター付近の環境美化清掃に取り組んでおり、平成12年度植樹祭において、緑化推進運動の模範として、建設大臣表彰を受けております。

この場所は、総合文化会館をはじめとする生涯学習センター、富士霊園、富士山麓フロンティアパーク小山、富士スピードウェイなどに通ずる小山町の玄関口とも言える場所です。

ライオンズメンバーは年間3回、美化清掃を行っています。内1回は、地元中学生（小山町立北郷小学校：以下北郷中）と共に汗を流しています。平成19年に「地域社会へのアピール、住民参加できる協働作業」もモットーに北郷中との協働奉仕作業が生まれました。

ここ最近猛暑により、雑草の発育が良く、草の量は10年前に比べると多くなりましたが、除草剤などを使用しながら、年3回、楽しみながら奉仕作業を行っています。

しかしながら、クラブ内の高齢化・ライフスタイルの多様化により、どのように継続していくべきかの岐路にたっているのも事実です。

先輩ライオンたちが築き上げてきたものは宝物です。その宝物を守りながら、日々進化していきます。

毎年、統一奉仕の日の前に、北郷中校長先生と打ち合わせを行います。ある年の打ち合わせで、「ライオンズクラブは“継続は力なり”を実践していますね。生徒達には、奉仕作業は単発ではなく、複数回やって奉仕です。」と言っているそうです。毎年の積み重ねが、北郷中とのふれあい奉仕につながっていると思います。

我々、小山ライオンズクラブには、「献眼活動」という奉仕があります。実は、この北郷中学区からの献眼が町内では、トップクラスです。北郷中との、協働奉仕が献眼活動にも、つながっているような気がします。

# 富士山登山道を彩りある街道に！！

3 R ・ 4 Z 富士宮中央 L C



3R4Zの合同アクティビティーの一環として、富士宮市主催による『美しい花いっぱいの町づくり事業（彩りある街道づくり事業）—登山道への広葉樹の植栽—』に協力団体として参加しました。

この事業は、富士山登山道富士宮口に通じる、県道富士宮富士公園線、通称登山道沿い、篠坂交差点北側から旧料金所までの区間を、“いろは紅葉”や“ふじざくら”の苗木を植栽することによって、春は桜、初夏は新緑、秋は紅葉を、といった四季折々の富士山の光景を味わっていただき、富士山の名物となり観光客のリピーターを増やそうと2013年より富士宮市の重点事業として始まりました。これに3R4Zのライオンズクラブが協力団体として作業のお手伝いを行っています。

本年は2025年11月1日に富士宮ライオンズクラブ6名、富士宮中央ライオンズクラブ7名、総勢13名が参加し、NPO法人富士山自然の森づくりの皆さんのご指導のもと、行いました。

この日用意された苗木は“いろは紅葉”40本で、須藤富士宮市長の挨拶の後、作業を開始し、今回は西臼塚周辺の道路沿いで約1時間半のアクティビティーを行いました。

これまでに総延長約4Kmに“いろは紅葉”910本、“ふじざくら”150本、合計1060本の植樹をしてきました。2018年からは過去に根付かなかった所の補植作業を中心に行い、その結果、道中は根付いた苗木が赤く染まったところが確認できました。しかし富士山麓の寒さや鳥獣による食害等の自然環境の厳しさもあり、そう簡単な作業ではありません。そのため、こういった毎年の作業が重要になってきます。

地道な作業ではありますが、これから何年か何十年か先の将来、訪れた観光客の心にその花が咲くことを祈念し、今年もアクティビティーを行いました。

# 台湾と熱海の児童が書画作品を交流

4 R・1 Z 熱海LC



1980年、台湾の桃園第一獅子會（台湾桃園ライオンズクラブ）と熱海ライオンズクラブが姉妹クラブとして締結したことをきっかけに、国際親善交流事業として、1996年、桃園国民小学校と熱海市立第一小学校の児童による書画作品の交換展示会がスタートしました。

以降、毎年秋、台湾と熱海の児童作品約30点ずつをそれぞれ選抜し、お互いに送付して両校で展示会を実施。

両クラブのメンバーと両小学校の教員で共に審査会を実施し、金・銀・銅賞を決定。

1月に、両校児童の作品を再び返送し、それぞれの小学校で表彰式を実施。両クラブでは自国の特色ある賞品を準備し、国際交流は元より、児童たちが純粋な瞳を輝かせ、自己肯定感の向上と誇りを培う絶好の機会となっており、教育関係者から大変喜ばれています。

何より、地域差による風土の違い、図工や書写、書道教育の環境の違いにより、画の作風、文字の書体等、様々な文化の違いが作品を通して理解できることが、学校関係者はもとより、PTAや地域の大人をびっくりさせることもしばしば。

そして桃園国民小学校児童の作品を見ると、台湾の家庭が、日本を良く理解しとても親日であることがよく分かります。

今後もこの国際親善交流事業を末永く続けていきたいと、桃園LCと話し合っています。

※写真は、左が熱海第一小学校での審査会  
右は、桃園国民小学校での展示の様子

# 収穫米の寄贈と眼鏡リサイクル

4 R・2 Z 修善寺LC



2019-2020年度から、クラブアクティビティやクラブPRの取り組みとして、コメの収穫と寄贈を行っています。

高齢化が進み、観光地の修善寺としては、水田の耕作放棄地が目立ち、景観にも問題があることから、耕作放棄地約10アールの水田を借り受け、コシヒカリのコメ作りを開始しました。

4月上旬の水田の起耕から9月中旬の収穫まで、メンバー全員で田植え、草刈などの作業を行い、毎年約420kg程度の収穫があります。

伊豆市社会福祉協議会と協力協定を結んでいることから、ここを窓口として、フードバンクふじの国、子供食堂を運営する北狩野ケアセンター及び協議会が実施している生活困窮者への食事サービス事業に全量寄贈しています。

また、2016年から眼鏡リサイクル活動も行っています。

自分には不用品でも、それを誰かが必要とし

て大切に使用してくれる。

リサイクルの活動を市民の方々が誰でも参加でき、負担のかからない事業として行っています。

市役所、商工会、社会福祉協議会、金融機関など8カ所に回収箱を設置、使わなくなった眼鏡、老眼鏡、サングラスなどの善意の提供を呼びかけ、毎年約500個の眼鏡を集め、眼鏡リサイクルセンターに送ります。

そのメガネが、国内、国外を問わず活用されていることに活動の意義を感じます。

メンバーの人数が少ない中、高齢化したメンバーでできる活動には限りがありますが、収穫米の寄贈と眼鏡リサイクル事業は継続アクティビティとして続けていき、地元や地域、他の団体とも更に協調して取り組めたらいいなと考えています。

# ライオンズクラブ国際協会334-C地区

## 第72回年次大会参加のご案内

ライオンズメンバーの皆さまにおかれましては、日頃より地域社会のための奉仕活動に多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年度 334-C地区は、スローガン「**We Serve 新たな奉仕に一步を踏み出そう**」を掲げ、各クラブが地域の課題に寄り添いながら、未来へ向けた新たな奉仕の形に挑戦してまいりました。こうした一年間の歩みを共有し、次なる年度への力強い出発を確認する場として、**2026年4月19日(日)**静岡市清水区「**清水文化会館マリナート**」にて、**第72回334-C地区年次大会**を開催いたします。

地区大会は地区内68クラブの本年度の奉仕活動報告と地区運営の総括を行い、次年度の地区運営を担う新役員への引継ぎを行う、大変重要な式典であります。当地区全体の奉仕の成果を確認するとともに「**新たな奉仕に一步を踏み出す**」決意を共有し、未来へと向かう力を結集する良い機会ともなります。

開催地である清水は、駿河湾と富士山に抱かれた風光明媚な港町であり、会場近くには新鮮な海産物で知られる「**清水河岸の市**」がございます。水揚げされたばかりの海の幸や地元の名産品が揃い、清水ならではの味覚と温かい人々の気質に触れていただけることでしょう。周辺には三保松原などの景勝地もあり、県内各地から訪れる皆さまに清水の魅力を存分に感じていただけるロケーションとなっております。

また、年次大会を記念して**チャリティーゴルフ大会**を**2026年3月11日(水)**に**リバー富士カントリークラブ**で開催いたします。霊峰富士を望む名門コースにて、クラブ間の親睦を深めながら、チャリティー精神を育むまたとない機会です。本大会への結束を高める行事として、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

本年度の締めくくりである地区年次大会は、奉仕の価値を改めて見つめ直し、次年度への力強い歩みを整える場であります。各クラブにおかれましては、ぜひ積極的なご参加とお声掛けを賜りますようお願い申し上げます。静岡市清水の地にて、皆さまをお迎えできますことを心より楽しみにしております。



大会会長  
地区ガバナー  
杉山 節雄



年次大会委員長  
小林 敏宏

# 第72回地区年次大会プログラム

3/  
11  
(水)

## 第72回地区年次大会記念チャリティゴルフ大会

- ◆と ころ/リバー富士カントリークラブ  
富士市北松野4222-10 TEL 0545-85-2378
  - ◆受 付/午前6時45分～
  - ◆参加登録料/5,000円 (チャリティ費用含む)
  - ◆プレイ代/10,000円予定 (セルフプレー・指定食事付)
- ※詳細は別紙ご案内を参照願います。



4/  
19  
(日)

## 地区年次大会 ;会場 静岡市清水文化会館「マリナート」

静岡市清水区島崎町214 TEL 054-353-8885

### 1.委員会〈資格証明・議事運営,指名選挙〉

- ◆と き/登録受付 12:30～12:40  
委員会 12:40～12:50
- ◆と ころ/マリナート・小ホール中楽屋

### 2.代議員会

- ◆と き/登録受付・投票 12:30～13:10  
代 議 員 会 13:30～13:50
- ◆と ころ/マリナート・小ホール

### 3.大会式典/アトラクション

- ◆と き/登 録 受 付 12:30～13:50  
アトラクション 14:00～14:15「静岡城内一輪車クラブ」
- 大会式典 14:15～16:00
- ◆と ころ/マリナート・大ホール



## ★アトラクションのご紹介



静岡城内一輪車クラブは 1996 年に発足し、未就学生から社会人まで 60 名程度の選手が所属しており、全国大会 3 連覇などその一輪車演技は世界レベルです。

## INFORMATION

## 事務局だより

## 2025～2026年度 第3回キャビネット会議報告

2025～2026年度第3回キャビネット会議が1月23日(金)静岡市において開催されました。当日承認された主な事項は次の通りです。詳細は、資料と議事要録でご確認下さい。

## 《協議事項》

1. 2025～2026年度地区会計中間報告並びに監査報告
2. 次期地区役員・クラブ会長・幹事セミナー実施について(案)
3. 他地区用緊急災害援助資金規定(案)について
4. 地区年次大会における献眼・献腎・献血ブース設置他について(案)
5. 第72回地区年次大会議事規則・代議員議事運営構成表・各案と、当日投票実施手順・年次表彰規定の確認について
6. 第72回地区年次大会・前当日スケジュール並びに分担・使用会場控室等について
7. 次期地区ガバナー及び次期第一副地区ガバナー立候補者承認並びに、次期キャビネット幹事・会計予定者について

※キャビネット会議議事要録をはじめ、地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開されます。会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。パスワードはクラブ事務局又はキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

## 2025年冬季、2026年夏季YCEプログラムは…

冬季来日青少年は1名、ドイツよりJohann KNOLLさん(男子)が12/9～12/22(12/19～22はMDキャンプに参加)の間、沼津LCに滞在、関係の皆様には大変お世話になりました。

2026年夏季派遣希望者は現時点で1名、受入も実施される予定、現時点で受入数は未定です。その節は、ご協力を宜しくお願いいたします。

## 2026年2月～地区キャビネットスケジュール

- 2/ 6(金) 第3回マーケティング・L情報委員会
- 2/ 19(木) 第72回地区年次大会第3回実行委員会
- 2/25(水) 第3回青少年・薬物乱用防止委員会
- 2/27(金) 第4回GST・献眼・献腎・献血委員会
- 3/ 2(月) 次期ZC研修会
- 3/ 9(月) 第4回ガバナーチーム会議 年次表彰最終審査会
- 3/11(水) 第72回地区年次大会記念チャリティゴルフ大会
- 3/18(水) 第4回キャビネット会議
- 3/26(木) 第72回地区年次大会第4回実行委員会
- 3/31(火) 第72回複合地区年次大会第3回実行委員会
- 4/19(日) 第72回地区年次大会
- 4/23(木) 次期地区役員・クラブ会長・幹事セミナー
- 5/24(日) 第72回334複合地区年次大会

## ◆表紙について

今年度のテーマは「静岡市素敵ポイント」です。



## 2025年8月～2026年1月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ	逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
8月 1日	L 澁谷	實(小山LC)	11月30日	L 加藤正明	(浜松LC)
8月 1日	L 山地一良	(西伊豆LC)	12月19日	L 高山孝洋	(富士宮LC)
10月14日	L 糸柳格順	(藤枝LC)	12月21日	L 小畑喜義	(浜北LC)
10月20日	L 鮎橋建夫	(蒲原LC)	12月23日	L 水口千里	(静岡駿府LC)
11月19日	L 小野禮司	(静岡橘LC)	12月24日	L 小野森男	(静岡駿府LC)



Photo : 赤水の滝 (葵区梅ヶ島)